



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第6号 2021年9月1日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)

URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

FAX 011-612-0980

夏休み明け、対面での授業再開を目指していましたが、やむを得ずオンライン授業期間が続いています。引き続き感染予防に注意しつつ、前期期末考査に向けて一つひとつの学習に集中して取り組んでいきましょう。



Congratulations!!

◎PDA 全国高校即興型英語ディベート合宿・大会 2021

授業の部

準優勝 高1-G 北村和佳さん
 高1-G 市東美晴さん
 高1-G 原田安珠さん

準決勝進出 高3-G 北川愛梨さん
 高3-G 長嶋美桜さん
 高3-G 美山若菜さん
 高3-G 山岡詩恵さん

POI賞 高3-G 北川愛梨さん

9月の予定

	行事	お弁当
1(水)	オンライン授業期間(~9/11)	
2(木)		
3(金)		
4(土)	高1・高2 寄宿舎保護者会オンライン(12:30~13:00) 高1 保護者会オンライン(13:00~14:30) 高2 保護者会オンライン(13:00~14:00)	
5(日)		
6(月)		
7(火)		
8(水)		
9(木)		
10(金)		
11(土)	中学生対象オープンスクール(10:00~12:00) Sr.岩井Zoomお話し会(10:30~12:00)	
12(日)	帰舎日	
13(月)		要
14(火)		要
15(水)	前期期末考査①	要
16(木)	前期期末考査②	要
17(金)	前期期末考査③	要
18(土)	前期期末考査④ 帰舎日(在舎可)	不要
19(日)		
20(月)	敬老の日 高文連英語スピーチコンテスト(動画審査)	
21(火)	秋季休業 母の会聖書サークル(Sr.井出、10:30~12:00) Sr.竹井追悼の会	
22(水)	秋季休業	
23(木)	秋分の日 帰舎日	
24(金)	試験返却①	要
25(土)	試験返却②	不要
26(日)		
27(月)	個人票手渡し	要
28(火)		要
29(水)		要
30(木)	球技大会(中高別、於:きたえーる)	※

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

行事予定はあくまで暫定のもので、今後大幅に変更される可能性がありますので、ご了承ください。変更については一斉メール等でご連絡いたします。

Expand your World
 - Upgrade your Future.

9.11(土)
 10:00~12:00

10.30(土)
 14:00~16:00

札幌聖心女子学院高等学校

オープンスクール

ネイティブによる英語体験授業

☆学校説明会の動画を配信します。視聴方法は、9/11(土)よりお申し込みをいただいた方にご連絡いたします。
 ☆地下鉄「円山公園駅」バスターミナルより、送迎バス運行(開会 30分前発)

要予約 お申し込みはこちら ▶

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校
 〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1 TEL: 011-611-9231 FAX: 011-612-0980

姉妹校合同ワークショップ SOFIS

8月17日・18日の二日間、三光町(東京)・小林・不二・インター・札幌の姉妹校合同ワークショップ SOFIS が開催されました。本来であれば各姉妹校のメンバーが一堂に会して行う研修ですが、感染予防の観点からオンラインでの実施となりました。

今年度のテーマは「ジェンダー平等を実現しよう」でした。各校の事前学習の発表から始まり、講義・ワークショップ・映画鑑賞など、さまざまなプログラムを通して学びました。それぞれのプログラムの中でブレイクアウトセッションがあり、グループごとに話し合って意見を共有しました。

最後に、これまでのセッションを踏まえて姉妹校ごとにアクションプランを話し合い、発表しました。今後も姉妹校で連携しながら、2021年度のSOFISメンバーでアクションプランに取り組んでいければと思います。二日間の短い日程でしたが、非常に中身の濃い有意義な研修になりました。



今月の聖句

神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。

ルカによる福音書 17章 21節

8月にオンラインで行われた即興型英語ディベート（PDA 全国高校大会2021 授業の部）の準決勝は、なんと札幌聖心の2チームが東京オリンピックの中止の是非をめぐって戦い、手に汗にぎる試合の結果、決勝に進んだのは中止を訴えたチームでした。

かつてこのような賛否両論のオリンピックがあったでしょうか。しかし、選手たちの活躍は目覚ましいものでした。

札幌で行われた男子マラソンのゴール直前に、2位争いでトップについたオランダ選手が、必死にゴールを目指しながらも、振り向いてベルギーの選手に後に続くようにとのジェスチャーを繰り返す。誘われたようにベルギーの選手はスピードを上げて3位となりました。後で、二人がともにソマリア難民で、入賞の喜びを分かち合ったと聞いたとき、「神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。」という聖句を思い出しました。

海外の聖心姉妹校出身の選手は、五輪3連覇で七つの金メダル獲得の水泳のレディッキー選手（ワシントン郊外の聖心出身）を含めてアメリカから4名、メキシコから1名、オーストラリアから1名、現在開催中のパラリンピックにはオーストラリアからパラサイクリングで1名参加しています。障がいを変えて、全身全霊で競うパラリンピック映像にも、この聖句を思います。

夏の終わりにこんな手紙が届きました。

『分かち合おう』と自ら選択した瞬間、私のもっているささやかなものを、神様に抱えきれない大きなものに変えていただき、神様の存在を強く感じました。『分かち合おう』と決めたとき、もう孤独じゃないんです。

「分かち合おう」という言葉を教えてくださった札幌聖心に、絶えず感謝し、祈り続けます。」

この手紙を読み、「ここにも神の国が実現している」と心を打たれました。コロナ禍の中であっても、わたしたちのただ中にある神の国に気づく日々でありますようにと祈ります。

[担当：チャプレン Sr.田口保子]